

岩角山会報

第13号

令和5年6月発行
発行責任者
岩角山観光協会
(岩角寺内)
住所
〒969-1205
本宮市和田字東屋口84
TEL.0243-44-3354

会長あいさつ

岩角山観光協会会長 石橋 實



日頃より、会員の皆様並びに関係各位には、岩角山観光協会事業及び岩角寺催事に対し、誠にありがとうございます。本年一月三日の大梵天祭に



梵天争奪戦

つきましては通常開催とさせていただきます。三年前に「梵天争奪戦」の勇壮な熱気が戻って来ました。お陰様で一年の「福」をお求めになる多くの参拝者で賑わいをみせました。あらためて皆様方のご尽力に対しまして心から御礼を申し上げます。

さて、私たちの社会生活に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症も、五月八日から「五類感染症」へ移行されました。今年度につきましても、ウィズコロナのもとでの活動とはなりますが、観光推進事業並びに環境整備事業などについて、皆様のご協力を賜りながら進めて参りたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ご奉仕の種

岩角寺庭婦人 佐藤 京子

くぐり灯籠をくぐった先の、六地藏様。いつも鮮やかな赤い前掛けで、冬には毛糸の帽子をかぶっていらっしやいます。

それはあるお檀家さまが人知れず作製し、お嫁さんと共にそっとかけてくれていたのでした。昨年お亡くなりになりましたが、きつと六地藏様

岩角山の西国

三十三観世音巡り

岩角寺責任役員 影山 公平

岩角山の巨岩壁に線刻してある観世音巡りを紹介します。

時は江戸時代、元禄年間、山城岩角は戦火によって荒れ果てていました。

これを見かねた二本松藩主丹羽光重公は、祈願寺であった岩角寺の再興を、何とか成し遂げたいと、当時民衆の憧れであった西国三十三観世音巡りを、この岩



千手観世音

角山でできるようにしてはどうかと考えました。そして観世音の霊場から御分霊を勧請し、山内の巨岩壁に観世音を線刻しました。先日、京都から観光に来た婦人は、十六番に清水寺の十一面観世音が刻まれていたと喜んで帰られました。写真は、毘沙門堂前の三番、和歌山県起三井寺千手千眼観世音です。

のお導きで、穏やかにわたしたちを見守っていることと思えます。そしてそのお心は引き継がれ、現在もある方の手によって前掛けが寄贈されています。

善い行いは、連鎖します。このようなご奉仕の種が、たくさん蒔かれ繋がっていきましますように。そして皆様の家庭が、この地域が、たくさんさんの鮮やかな花でいっぱいになりますように。ハルちゃん、ありがとう。



▶六地藏

三年ぶりフル開催となった 大梵天祭



梵天奉納行列

本年一月三日(火)これまで二か月近くにわたり準備を重ねてきた大梵天祭が三年ぶりにマスク着用等一部制約は残りましたが、すべてのイベントが開催されました。当日は、好天に恵まれ年末

に降り積もった雪も解け、暖かく絶好のお祭り日和となりました。午前十時十五分から会館二階において、梵天清め式、続いて十一時から梵天奉納行列、大般若転読大護摩供祈禱

が行われ、一年間の平穩を祈りました。境内では、三年ぶりに梵天争奪戦が行われ、少しでもご利益を得ようと大勢の人が我先に梵天に駆け寄っていました。並行して境内に設けた特設ステージでは和田小学校和太鼓クラブや安達太良太鼓保



原田雪見
歌謡シヨ一

▶梵天清め式



▶梵天争奪戦



▶和太鼓クラブ



舞踊



存会の演奏、歌手原田雪見さんのステージで盛り上がっていました。

ステージイベント 抽選会などの お楽しみ催し

原田雪見歌謡シヨ一は二部構成で行われ、プロ歌手の歌を楽しみました。

招福餅つきは、他寺からおいで頂いた住職の皆さんなどが、千本杵で掛け声と歌に合わせて餅をつき上げました。

大梵天祭最後のお楽しみ、福銭まきでは、温泉ペア宿泊券や白沢のろろ芋などの豪華景品が入っている福銭を手にしようと、お子さんからお年寄りまで多くの参拝者が参加しました。

那智観音 例大祭

那智観音堂に安置されている如意輪観世音菩薩の祭典である那智観音例大祭は、本年五月三日の午後二時から総代人や世話人など関係者約七十人が参列し執り行われました。参列者は皆、一日も早いコロナ感染症収束と、平穩な生活を祈願していました。

▶那智観音祭



安達太良太鼓



招福餅つき

金花水不動尊採燈護摩供大祭

昨年の七月十五日、本格的な夏を告げる行事である金花水不動尊採燈護摩供大祭が行われました。あいにくの雨の中、金花水不動尊の前では闊伽水取水作法(あかすいしゅすいさほう)が、さらに境内では秘法採燈護摩祈禱が行われ、檀家の皆様が願いを込めた木札を僧侶が読み上げ、燃え盛る護摩壇に捧げました。木札を護摩壇に捧げること

で、願いが叶うとされており、願いが叶うとされており

祭りに使う護摩壇は縦横高さがそれぞれ約一・五メートルで、檜の幹と枝葉を用いて岩角寺総代や観光協会の役員などで作ります。

祭りでは、僧侶の皆さんが五本の弓矢を放ち、それを拾った参拝者には記念品が贈られました。



▲採燈護摩祈禱

第八回坐禅会

昨年十一月九日の午前六時から、本堂において檀家の皆さんなど約四十人に参加をいただき坐禅会を開催しました。この日は、夜から深い霧が立ち込め幻想的な雰囲気の中、参加された皆さんは、約三十分の短い時間ではありましたが、自身を見つめなおす絶好の機会となりました。

坐禅会は今回で八回目になりますが、今後も開催してまいりますので是非参加してみてください。

坐禅体験



イギリスの学生が坐禅体験

本宮市が国際交流を進めている英国のロンドンから、ダヴェナント・ファウンデーション・スクールの生徒等十八人が本宮市を訪れ昨年十月十九日岩角寺において坐禅体験を行いました。

参加した学生は、日本文化に理解を深めようと、坐禅体験に興味を持って楽しんでいました。



▶毘沙門堂前で記念撮影

霧の岩角寺



坐禅会



元朝祭と初詣

今年一月一日午前一時、毘沙門堂内では、梵天を持参した多くの檀信徒の皆さんが災難厄除、身体健固、五穀豊穡の護摩祈禱を受けました。

また、午前零時を過ぎると、穏やかな天候だったこともあり、初詣の参拝者が次々に訪れ、お守りや縁起物の授物を求めたり、おみくじを引いたりしながら新年の無事と平安を祈願していました。

元朝祭



新年の祈願





節分祭

二の大祭は、今年二月三日午前十一時から毘沙門堂で行われ、市内外から多くの皆さんがおいでになり、御護摩祈祷を受けられました。

また、午後二時から、本堂において節分祭が行われ、年男女のご祈祷申込者や世話人など約百人が参列しました。予定されていた豆まきは、感染症の拡大懸念から中止され、参列された皆さんに配られました。



二の大祭

檀家、役員による奉仕作業

真夏の草刈り奉仕作業

毎年七月の第四日曜日、檀家総出で岩角山の山全体の草刈り奉仕作業を実施しています。



草刈り奉仕作業

昨年は、晴天に恵まれ、気温三十度を超える猛暑の中、参加した皆様は汗をぬぐいながら一生懸命作業をしていました。終了時には山全体がきれいに整備されました。

植木の剪定作業

岩角山は山全体に紅葉やつつじなどきれいに植栽され、参拝客の目を楽ませています。

昨年六月十九日、伝道



剪定奉仕作業

師会の会員、観光協会役員と総代の皆様による植木の剪定作業が行われました。六月としては異常ともいえる気温三十度を超える猛暑の中、参加した皆様は、疲れた中にもすがすがしい気分になっていました。

大梵天祭準備奉仕

毎年十一月末から十二月末にかけて、大梵天祭の準備奉仕作業が行われます。昨年毎週土日の休日か



梵天の作成



筆耕作業



梵天に使う竹の加工

ら、平日も都合のつく方が岩角寺に詰め、梵天作りや会場作成など手分けして作業をこなしていききました。



イベント旗立て

樹木の伐木作業

木は年々育ちます。今は見頃の樹木も時がた

つと支障が生じることがあります。そこで、岩角寺役員の皆さんで、そのような樹木の伐木作業を行っています。今年二月二十八日参道入口付近にある樺の大木を伐採しました。



樹木伐木作業

編集後記

令和二年からコロナウイルス感染症に翻弄された三年間でしたが、昨年末からは感染率も下がり少しつつ普通の生活を取り戻しつつあります。

感染症により疎遠となった地域コミュニティを取り戻し、仏教の教えの基、親切と思いをもち活気あふれる地域にしていきたいでしょう。

(編集委員一同)